産官学連携　―未来創造と社会課題の解決に貢献―

世界に開かれた大学として、社会に、そして地球社会の調和ある共存に貢献するという本学の基本理念のもと、多様な研究から生まれた卓越した「知」を社会に伝え、社会が抱える多元的かつ複雑な諸問題の解決に取り組むため、京都大学は産官学連携活動を推進しています。

知的財産の活用

研究成果の実用化を促進するため、発明届出時の段階から学内外の関係組織と連携し、知財支援等の活動を推進しています。2023年度より、研究者(学生含む)から新しく生まれる画期的でオリジナルな発明を称え、これからの研究発展を応援することを主な目的とした「京都大学成長戦略本部発明賞」を創設しました。

令和7年度 知的財産活用件数 **283**　　収入 **1,636,681**千円

ベンチャー支援　―研究成果の社会還元を促進―

研究成果に基づき得られた特許の利用促進や学内シーズに基づくベンチャー支援を通じて研究成果の社会還元を促進することで、社会変革を促すイノベーションに貢献します。

京大発ベンチャー創出数　**503**社(令和7年10月末時点累計)

地域との連携

京都大学では、京都府、京都市をはじめとした地域・機関等と連携協定を締結し、教育・研究・環境保全等様々な分野において相互に協力して、地域社会の発展と人材育成に寄与する取組を進めています。

社会連携　―京都大学のアウトリーチ―

京都大学の学術資源を活用し、京都をはじめとする地域の文化、産業等の発展と課題解決に資する社会連携を推進しています。また、フォーラム、講演会、隔地の施設公開などの社会連携イベントを通じて、社会人等の生涯学習機会を拡充しています。

公開講座・講演会・シンポジウム等

京大知の森

京都大学の知を広く学内外の人々に向けて発信するため、2023(令和5)年秋から開催している公開講座で、研究者の手引きのもと、講演や討論を通して多様な研究分野をもつ京都大学の「知の森」に分け入り、研究の面白さや意義をお伝えしています。

京都大学丸の内セミナー

各研究所・センターで行っている最新研究成果の発信。首都圏在住の社会人を対象とした「大人のための高度な教養講座」として、東京丸の内で平日夕刻から実施。もちろん、どなたでも参加いただくことができ、大学生・高校生の参加も歓迎します。

京大の知

全国各地を巡回して京都大学の研究成果を発信することを目的とする講演会。毎回定められたテーマに沿って、京都大学の教員が講演。

京都大学附置研究所・センターシンポジウム

毎年1回、主要都市にて開催。特に、次世代、次次世代の中心となる中学・高校生、先生などの参加を期待。

京都大学－稲盛財団合同京都賞シンポジウム

京都大学の主催、稲盛財団の共催により、日本が世界に誇る国際賞である京都賞(稲盛財団主催)の分野を対象に、最先端あるいは現在注目される研究者等を迎えて開催。

京大知の森(秋季)

京大知の森(春季)

附置研究所・センターシンポジウム

京都賞シンポジウム

京都大学の研究・教育を知る

京大ウィークス

北海道から九州まで全国に数多くある教育研究施設における公開講座、講演会、施設公開等を一定期間に集中して実施しています。

京都大学アカデミックデイ

100名以上の研究者が一堂に会し、多くの方と直接対話し研究活動をわかりやすく説明します。市民や研究者、文系、理系を問わず、誰もが学問の楽しさ・魅力に気付くことができる「対話」の場です。

上記のほか、京都大学では、京都大学総合博物館、京都大学大学文書館歴史展示室、京都大学白浜水族館などでの展示や、SDGsイベント、クロックタワーコンサートなど、一般の方も参加可能な各種プログラムを多数実施しています。ぜひご参加ください。　www.kyoto-u.ac.jp/ja/event/all

京都大学同窓会・京都大学基金

京都大学同窓会　hp.alumni.kyoto-u.ac.jp

会員相互の親睦を図り、京都大学と共に同窓会組織が発展することを目的としています。毎年11月には、卒業生が母校に戻り楽しいひとときを過ごすホームカミングデイを開催しているほか、国内外の地域同窓会では、講演会や懇親会により交流を深めています。

京都大学基金　fund.kyoto-u.ac.jp

卒業生をはじめ、卒業生のご家族、企業・団体等の皆様からのご寄付に支えられ、修学支援、留学生への奨学金、若手研究者の支援などに活用しています。各種基金の目的と成果、新規寄付募集等をぜひご覧ください。